

2022年9月号
No. 100

～出会いとふれあいの場～ ハロー公民館

南街公民館だより

東大和市南街5-32 ☎：564-2771 発行・編集：南街公民館

ハロー公民館100号に
到達しました。今後も
応援をお願いします。

地域の風 49

富士見通りに戦前からある「理容西川」2代目の西川勝義さんに、まちの移り変わりを伺いました。

*二小周年行事で写真展を

私は二小の一期生ですが、30周年記念行事で先生方に相談され、市に昔の写真があるのを知っていたので、写真展を提案し、校庭で児童達にも当時の話をしました。又、写真で自分のアルバムを作り、店に置いて人にもお見せしています。

映画館の写真は時代劇を見た子どもの頃を思い出します。

富士見通りの商店街、古い町営住宅や青梅橋駅の駅舎、給水塔。桜街道は桜並木が道の真ん中になりました。道路の整備はまだで、ぬかるみで車が動けなくなったり、アスファルトの舗装は、夏場はとけて、自転車は苦労しました。昭和30年代に都営、光が丘住宅ができ、南街はものすごく変わりました。春

子どもの頃の楽しい思い出が、まちを活性化する

先の赤い風（埃）もひどかったです。

*富士山が見えた商店街

昭和13年頃に国策で軍需工場ができ、1万人規模の社宅が出来ました。大部分が4軒長屋で一部、瓦が足りず、杉の屋根の長屋もありました。昭和20年代に富士見通り商栄会が結成され、最盛期には80店以上の加盟店がありました。富士見通りからは、富士山が見え、私の家は平屋でしたが、昼に寝転がっても見えました。大人になってから聞いた話ですが、当時、南街神社を作ろうという話もあったそうです。二小の校庭での祭りも工事で中止になっていますが、続けて欲しいものですね。

*子ども時代

畑の中を駆け回り、雪の日には見えなくなった肥溜めに落ちたり、グラウンド（二小の西側）の土手のプラタナス

3代目が頑張っているお店や、新しくできているお店、乞うご期待！

の木から落ちたりしました。トイレや鼻をかむのに、新聞紙を使ったりしました。

*コミュニティの場

床屋談義という言葉がありました。お客様ではなくても、将棋をしに来たり、常に人の賑わいがありました。歳の暮れは、商店街も一段と賑わっていました。大晦日は、床屋、風呂屋は元日の朝までやっています。

今は物販業が成り立たなくなり、商店街も寂しくなってきましたが、市内でイベント（七夕祭り、ガラポンセールなど）が出来る商店街はほぼ、富士見通り商栄会だけのようです。

淡々と、時に熱く語る西川さんのお話に引き込まれました。（若松）





NO. 22

「商店街×アート」という事業に取り組んでいる富士見通り商栄会会長の米山良太さんと会計の煙山理加さんにお話を伺いました。

買い物以外で商店街に来ていただく！

事業をするきっかけは？

3年前、市の産業振興課の呼びかけに応じ、ワークショップで、商店街を盛り上げようとホームページを作りました。その継続事業として商店街を活性化させる為に、アート作品を街に飾る話が出ました。武蔵野美術大学も近いし、アート作品の展示で成功した商店街の例もあって、アート作品をちりばめて街を盛り上げてはどうかと話がまとまりました。

実行委員は、商栄会からは会長、副会長、会計、特別会計の役員4人と産業振興課と(株)シーズプレイスの三者で構成し企画を進めています。産業振興課の方から武蔵野美大さんにアート作品制作参加申し込みを持ち掛けて頂きました。

右のチラシを武蔵野美大さんと立川市にある寮に配布しました。

学生さんからの反応が良く現在40人位の応募があります。留学生の参加もあります。学生さん達の熱意を感じましたね。感謝でいっぱいです。

商栄会の店舗数31ある中で15店舗が参加し、東京信用組合さんも参加してくれます。

6月30日まで学生を募集し、商店とのマッチングをしていきます。7月から制作を開始し、12月には全作品完成、年末に発表の予定です。是非南街公民館さんにも参加のお願いをしたいですね。

この事業は武蔵野美大さんと継続していくことを検討しています。

予算に関しては、市側から宝くじの助成金を充当するとのこと、材料費等にあて、学生さんや店舗からの持ち出し金はありません。

これから学生さんと顔合わせをし、商栄会のキャラクターが猫なので「ネコ」をテーマにした作品の制作を話し合ってください。チャレンジショップの

外壁や、2小の横のポケットパークのベンチ・プランターにもペイントをしてもらいます。

作品を見に来ていただくだけでは集客につながらないので、色々のサービスを考えています。これらについても学生さんからのアイデアを吸収しようと思っています。

商栄会さんの新しい取組に注目！

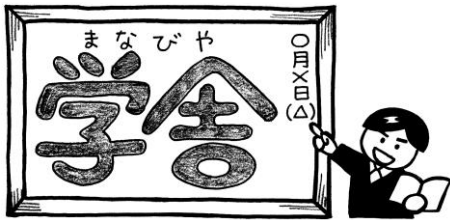
今回の事業の取組で、南街公民館さんや多摩信用金庫さんからの取材申し込みがあったり、東京工芸大学映像学科から、この事業を映像にして卒業制作にしたいので撮らせてくださいとの依頼があって、びっくりしています。

まだPR活動までは頭が回っていませんがしっかりと考えていきます。

また、地域の人が行ったことのないお店でも作品を見に来ていただき、こんなお店があると知るきっかけになると良いなと思っているそうです。

お二人のお話から、アートとのコラボ事業にかけ熱意が伝わってきました。昔からの老舗や地元の人気店主のいる店も多く、地域の方々と一緒になって七夕祭りを実施している富士見通り商栄会の新しい取組が注目されています。

皆さんの応援よろしくお願ひします。(目黒)



今年、公民館保育室が開設して 40 周年を迎えます。南街公民館の「おうちモンテッソーリの会」で保育室を利用されていた、井上美紀さんにお話を伺いました。

『公民館保育室を利用するきっかけ』

平成 30 年の南街公民館保育付講座「子どもは自ら成長する力を持っている」に参加し、それが「おうちモンテッソーリの会」というサークルになり保育室を利用しました。講座は市報で知り、無料で保育が出来て、お母さん達は勉強出来るのがいいなと思い参加しました。

『公民館保育室を利用して以前と今、変化はありましたか？』

以前は児童館しか知らなかったのですが、保育室を利用することで、公民館の遊空間を知り長男が参加しました。また、そこで南街公民館で活動されている手品サークルの方と知り合いになり、個人的にお願いをして、マンションの子ども達を集めて行ったクリスマス会にて手品をやらしてもらいました。そういう繋がりが出来て、子ども達もすごく喜んでくれました。

*ご自身の変化は？

2 時間集中して話が聞け、モンテッソーリの事も深く知る事ができたし、別の講座の「風水」では、トイレと玄関だけは毎日掃除というのが頭に残っていて、毎日ではないけれど気にはしていて、生活に変化があったとは思っています。

*子どもの成長は？

異年齢で遊ぶことで大きい子に教わったり、小さい子をかわいがって「どうぞ」って出来たりしていました。また、連絡帳のマークを自分

で覚えて、荷物などをしまう事が出来ていたの
で、幼稚園に行ってから、下駄箱に靴をしま
うなどスムーズに身支度が出来ていました。保
育室は幼稚園にあがる前の練習になると思
いました。生活リズムも整いました。保育室は
お母さんと離れる嫌な思い出ではなく、いっ
ぱい友達がいる、楽しい所と上の子は覚え
ています。モンテッソーリでは、家族の一員
として家の事をする。お母さんの仕事では
なくて、皆で住む家だから家事は分担する。
下の子はお手伝いが好きになったし、長男
は自分のシャツをアイロンがけて、妹のナ
フキンもかけてくれています。興味を持った
事を伸ばしてあげるんです。

*地域への貢献

PTA の役員になり公民館運営審議会にも
参加しました。上北台の「じゃらんじゃらん」
とのコラボの「うまかんべえ〜カレー」の
メニュー考案から試食まで子どもと参加し
て楽しかったです。

『今後の公民館保育室を利用するお母さんへ』

ただ、子どもを預ける場所ではなくて、子
どもも成長出来て、お母さんも 2 時間集中
して学べる場所なので、ぜひ保育園に入る
前の練習でもいいので利用してみてください
。出来ればその後、サークルとして継続し
て欲しいです。保育室は異年齢で成長出来
るいい場だと思っています。

公民館保育室のいろいろな学びを聞か
せて頂いて、たくさんの親子に利用して
欲しいと思いました。(小林)



祝 ハロー公民館 100号達成!

歴代の編集委員さんから、お祝いの言葉をいただきました。

わたしが編集に参加したきっかけは、保育付講座からスタートした所属サークルでした。文章を書いたり、人と出会ったりするのが好きだったので、気軽に始めましたが、多くの人目に触れる文章やテーマなど、考えさせられる事が多く、学ばせて頂きました。家庭の事情で短い年数で辞めましたが、今後同じような活動をしたいなと思っています。(煙山)

このたびは、南街公民館だより「ハロー公民館」が創刊100号を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。編集委員として未経験で拙い部分もありましたが、携われたこと大変感謝しております。この場を借りて取材を快く引き受けて下さった皆様、ご協力くださいました編集委員の皆様にお礼申し上げます。最後に、今後ますます充実した紙面を楽しみにしております。(田中)

東大和に引っ越してきて24年になります。

「ハロー公民館」の編集委員になった事で、様々な年齢の方を取材させて頂き、南街という町を少しずつ知る事が出来ました。南街の歴史や子ども達が通った東大和二小・二中の歴史を聞くことも出来ました。富士見通りの古い写真を見る機会もありました。

2面「町たんけん」は、マンホール蓋であったり、明るくなった街灯についてだったり、家の近所を歩いている時に「あれ？」と疑問に思った事を、市の職員の方に教えてもらえました。そのおかげで町の移り変わりを気に留めるようになりました。

子ども達を通しての知り合いの他に、いろんな方と挨拶を交わせるようになりました。

公民館は私の学びの中心になっています。こうやってパソコンで文章を書けるようになったのも、編集委員になっていなかったら、習いに行こうとまでは考えなかったと思います。

100号を迎える事が出来たのも、いろんな方のアンテナが、いろんな方向に向いていたからだと思います。これからも色々なことに興味関心を持って行きたいと思います。宜しくお願いします。(小林)

ハロー公民館の記事の軌跡

No. 1~6は保存されておりませんが、それ以降の軌跡をたどりたと思います。○付数字は号数です。

自主グループの記事は⑨ひまわりコーラス⑩あそびの木⑪あかね⑫東大和の戦争と郷土史研究会。

講座に参加しての感想記事は⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕。

ここまでは、講座や事業のPRや報告が記事の中心でした。⑳以降、各種連載が始まります。

㉑から10回にわたって連載された「タウン情報〜ひと・ヒト・人〜」は人口・出生・国勢調査などの情報記事でした。

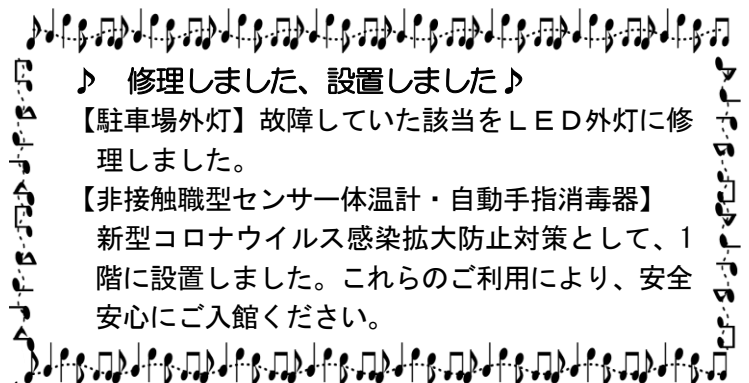
㉒からは「地域の風」の連載が始まりました。地域にお住まいの方への取材記事です。原稿担当は編集委員です。総集編が㉓〜㉔に掲載されていますが、築山礁太氏の㉕は㉖に訂正します。㉗成人式実行委員会上岡さん・井岡さん・三宅さん・松井さんを追記します。その後、㉘市内を観光してみませんか：吉田さん・佐藤さん・藤田さん、㉙親子がワクワクドキドキできるまちづくり：浅利研二郎さん、㉚市民が守った奇跡の変電所：新家靖之さん、㉛いろんな分野の人と知り合うのが一番大切：内田裕子さん、㉜人の病気や障害をいやす音楽療法を知って：橋本智保子さん、㉝商栄会のキャッチフレーズ『にゃんがいい!』なんがいい：井上久史さんを取材しています。

㉞からは「南街ものがたり」という南街の歴史に関する記事が始まっています。

㉟からは「学舎(まなびや)」と題して、講座や事業に参加した方を取材しております。原稿担当は編集委員です。

㊱からは「町たんけん」として南街地区のたんけん記事を連載しています。地域調査と原稿担当は編集委員です。都立東大和南公園、防火水槽、モニュメント、防災倉庫、新街道、南街老人福祉館、街灯LED化、中小企業大学校、あとリエトントン、富士見通り道路整備、新給食センター、総合福祉センターはとふる、放課後デイサービスぽっぷ、「東京ゆったり日和東やまと」ロゴマーク、うまべえデザインマンホール、チェルステガーデン、高齢者見守りぽっくす・ぽっと支援センターなんがい、緑のボランティア、ふれあいなごやかサロン、エコプラザスリーハーモニーを取り上げてきました。

今後の記事にもご期待ください。



♪ 修理しました、設置しました♪
【駐車場外灯】故障していた該当をLED外灯に修理しました。
【非接触職型センサー体温計・自動手指消毒器】
新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、1階に設置しました。これらのご利用により、安全安心にご入館ください。